

第一回輪講

Steve Jobs

— The Exclusive Biography

名城大学
情報工学科
渡邊研究室

理工学部
4年
森健太

書籍について

Steve Jobs

— The Exclusive Biography

著者： ウォルター・アイザックソン

訳者： 井口耕二

発行所： 講談社

発行日： 2011年10月24日 第1刷発行

発表の概要

- 伝記の中でも、Steve Jobs氏の幼少期からアップルがマッキントッシュを発売するに至るまでの経緯を知る
- また、その中で生み出された技術や行動方針から、代表的なアイデアと生き方を学ぶ

- 本資料は書籍を基にして作成されたものです
- 文書の内容の正確さは保証できないため、正確な知識を求める方は原文を参照してください

- 以後登場人物の敬称は省略致します

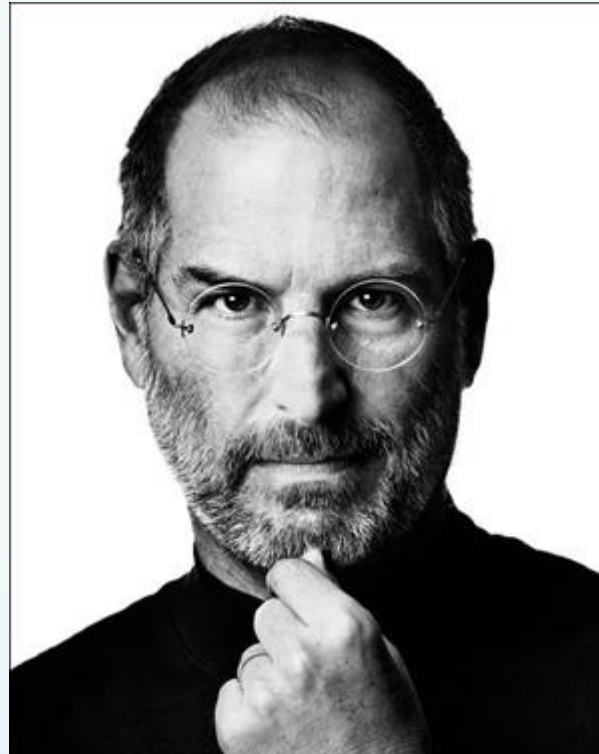
Steve jobs

1976年
アップルコンピュータ設立

1984年
初代Macintoshを販売

1986年
アップルコンピュータを退社

1996年
アップルコンピュータに復帰



2001年
iPodを発表し大ヒット

2007年
iPhoneを発表

2010年
iPadを発表

1955～2011

家族関係



アブドゥルフアター・
ジャンダリ

ジョアン・
シーブル

ポール・
ジョブズ

養子

クララ・
ジョブズ



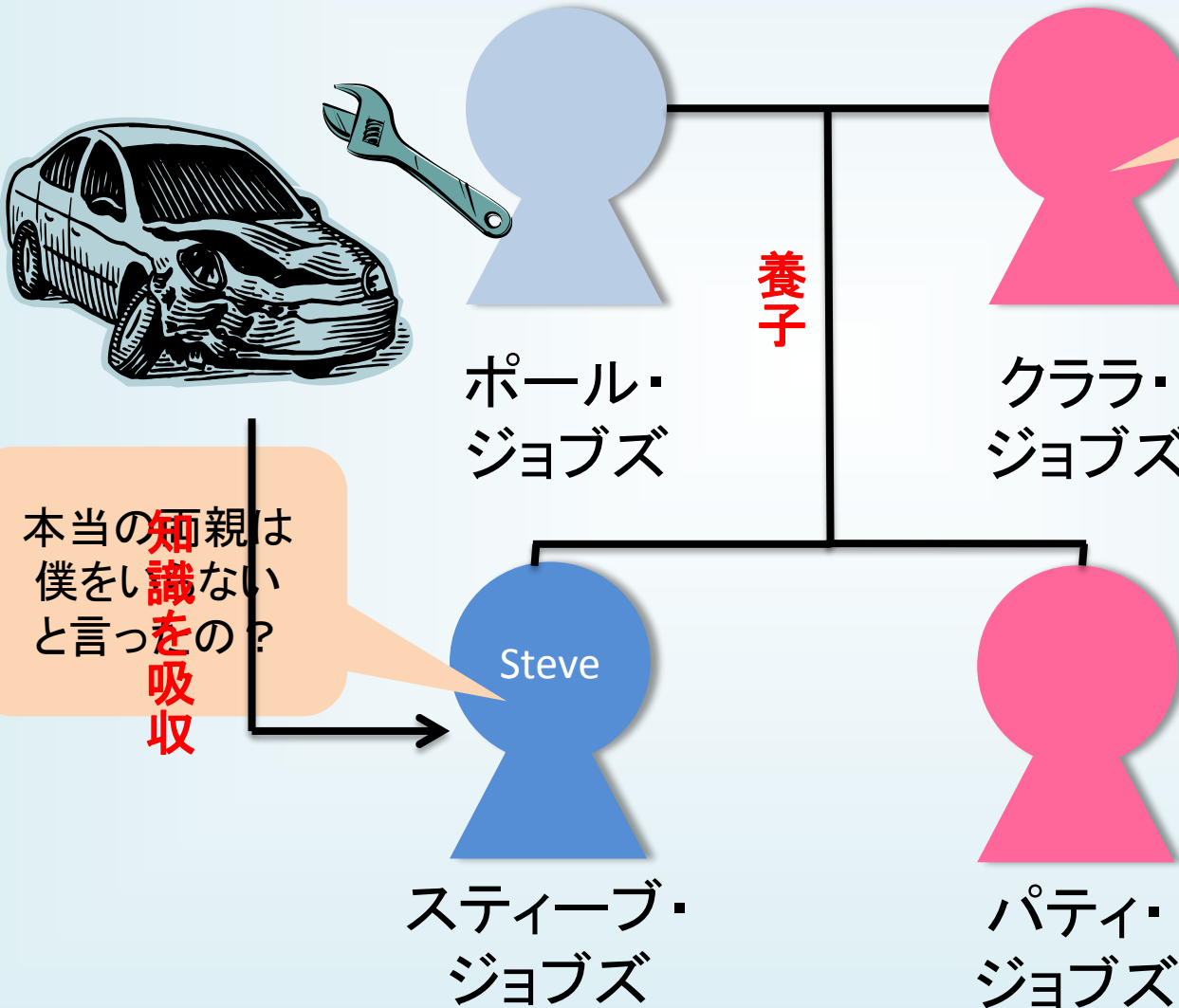
スティーブ・
ジョブズ

モナ・
シンプソン

パティ・
ジョブズ⁴

少年時代

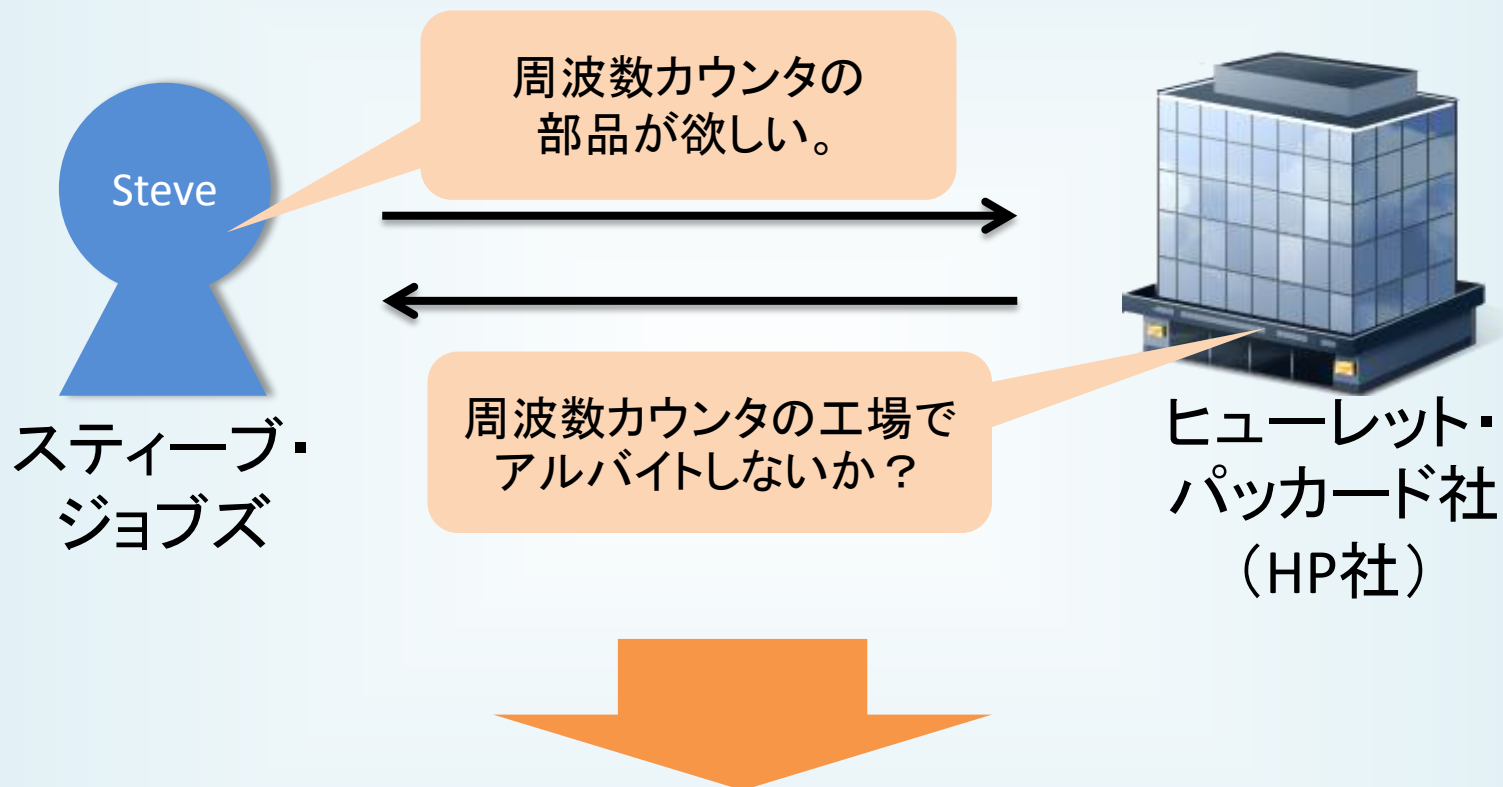
車の修理屋



本当の知識を吸収
両親は僕を知らないと言っの？

いいえ、私たちはあなたを選んだの。

少年時代



- HP社のCEOに電話し、組立ラインでのアルバイトを手にする
- LEDに興味を持ち、デスクトップコンピュータに出会う

ウォズと出会う



- いたずらやエレクトロニクス設計で意気投合する
- ブルーボックス※1を作成し、売り捌く


※1 電話システムを騙して不正に無料で電話をかける装置

ジョブズの大学時代

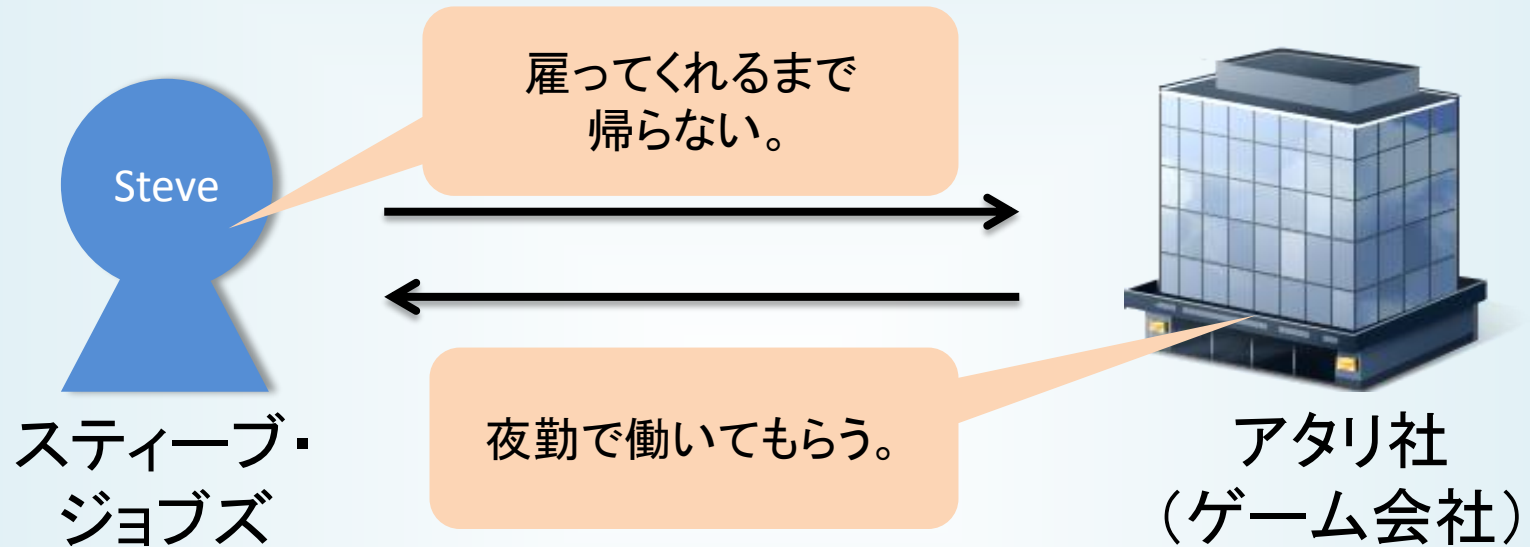
リード大学へ進学

ベジタリアン



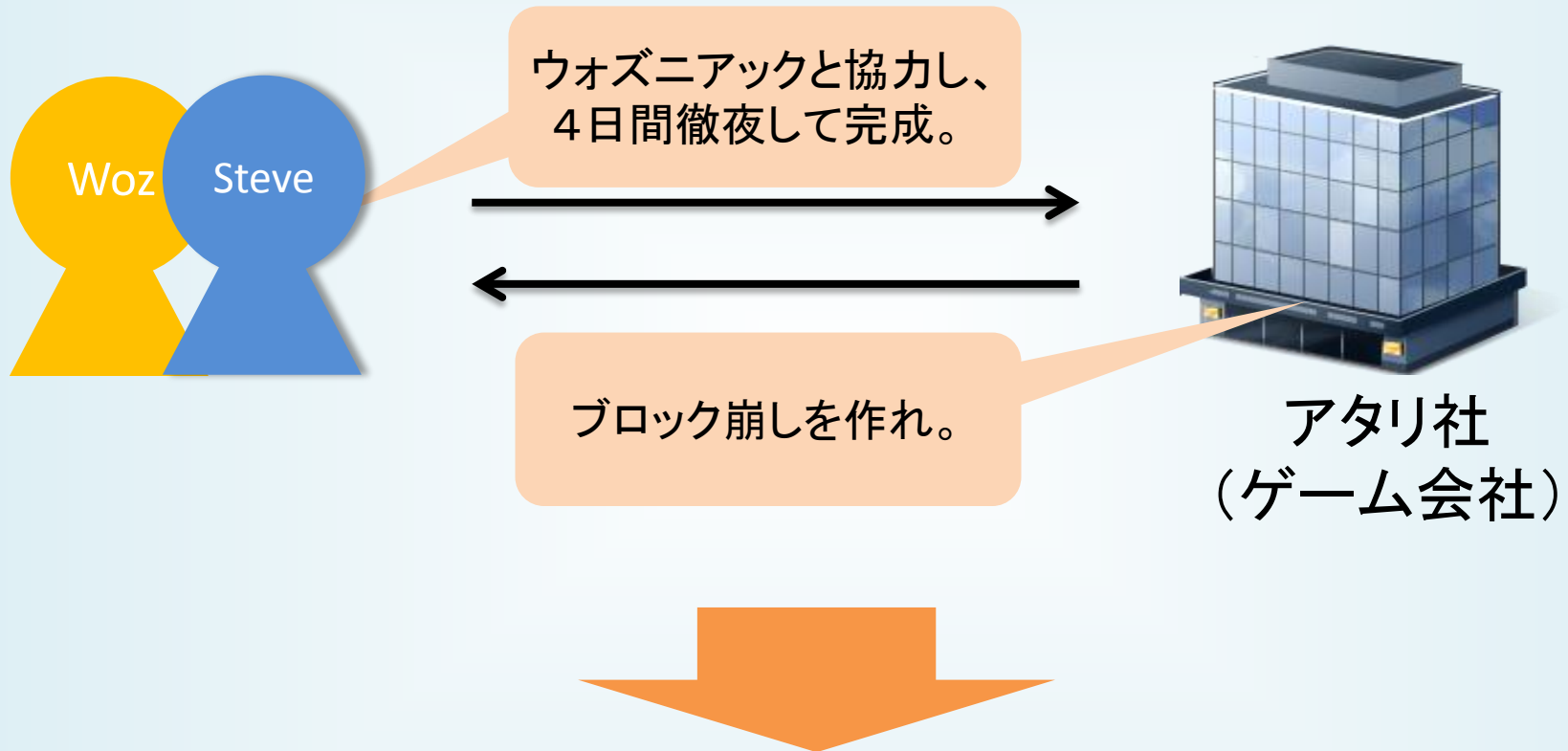
- 
- 禅に興味を持ち、断食するようになる
 - 必修講義をサボリ、自分が出たいと思う講義に出席する
 - ついには大学を中退する

アタリ社との出会い



- 求人広告でアタリ社を見つける
- ヨレヨレの服とボサボサの髪のまま、その日のうちに訪問する

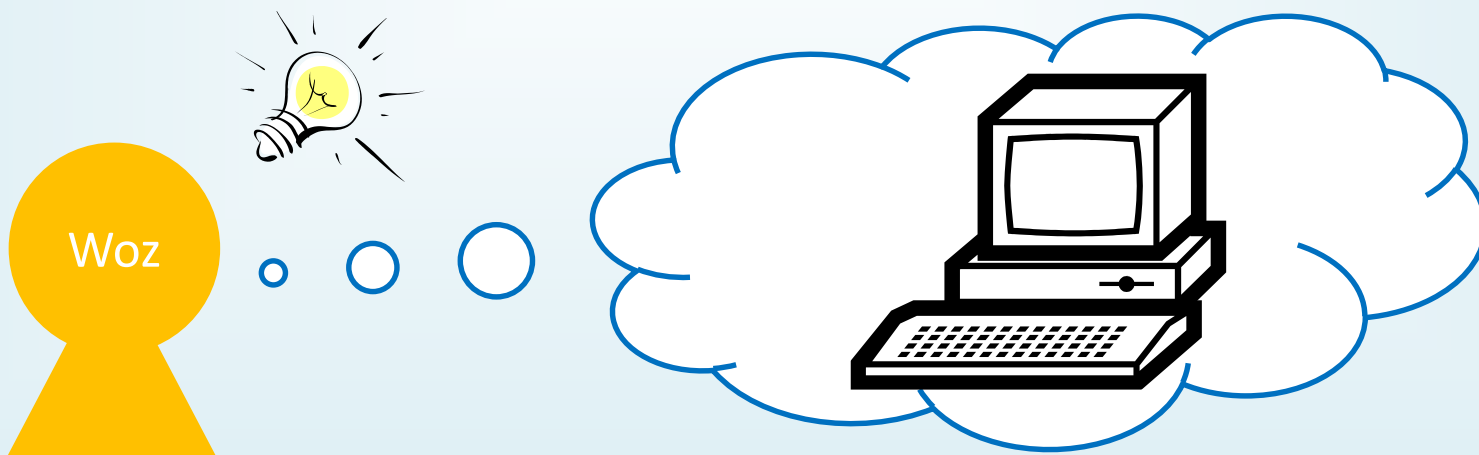
アタリ社との出会い



- シンプルで誰にでも分かる製品を作るようになる
- 「No」という回答を受け入れず、突き進む

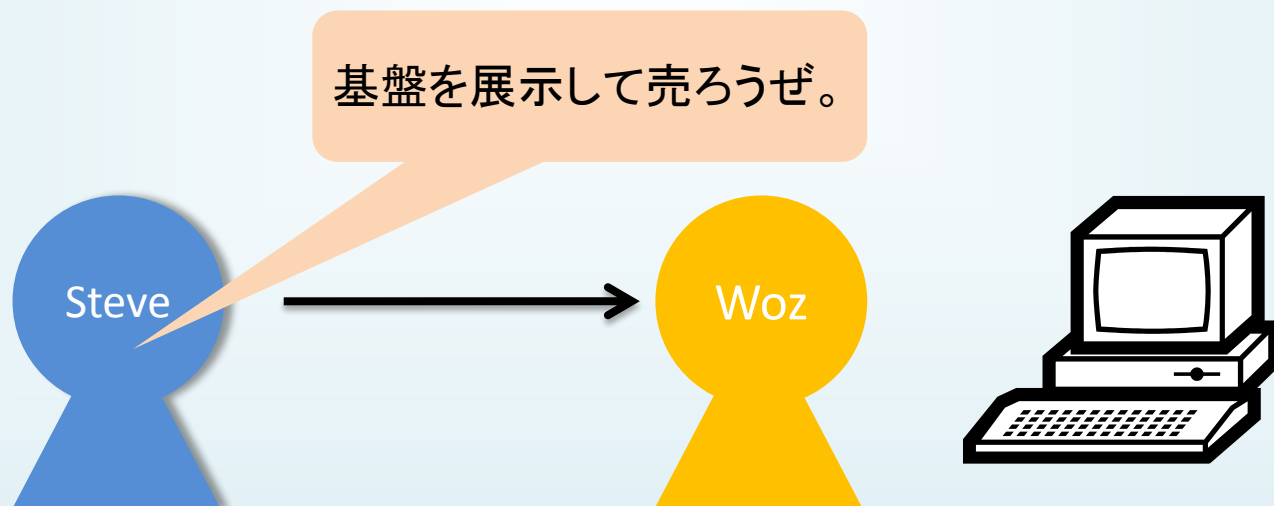
ホームブリュー・コンピュータ・クラブ

- ホームブリュー・コンピュータ・クラブとは
 - ゴードン・フレンチとフレッド・ムーアが立ち上げた個人用エレクトロニクス機器の情報を共有するクラブのこと
 - ウォズニアックがキーボード、スクリーン、コンピュータをまとめて個人に提供することを思いつく



ホームブリュー・コンピュータ・クラブ

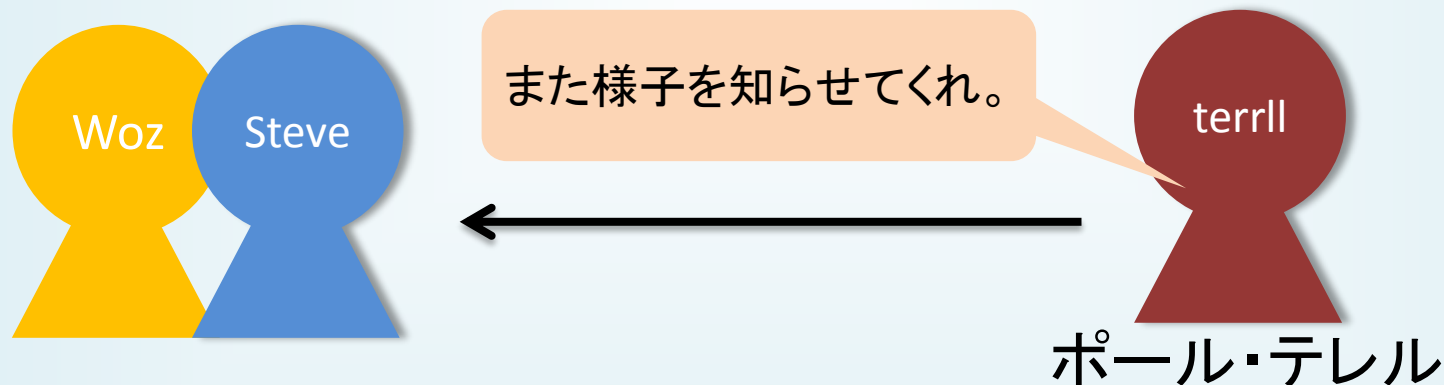
- 2ヶ月後の1975年6月29日
キーボードから入力したキャラクターがスクリーンに表示される



アップル設立

➤ 社名の由来

- ジョブズがリンゴ農園から帰ってきた後に名前を決めたから
- 元気がよくて楽しそうだったから
- 電話帳でアタリ社よりも前にくるから
- ホームブリュー・コンピュータ・クラブで制作した基盤を見せる



- 翌日裸足でバイトショップ※₁に出向き、50台分の商談を成立させる
- ※₁ポール・テレルがオープンしたコンピュータショップ

アップル設立

➤ 作業場所

- ジョブズの実家のガレージ

➤ 作業メンバー

スティーブ・ジョブズ、スティーブ・ウォズニアック、ダニエル・コトケ
エリザベス・ホームズ(コトケのガールフレンド)
パティ・ジョブズ(スティーブ・ジョブズの妹)と両親など...



アップル I



- バイトショップには500ドルで販売
- 一般向けには666.66ドルで販売

2014年4月11日現在のレートが1ドル101.475円

1976年7月当時の正確なレートは不明

2013年5月、推定37万1400ドル(6700万)で落札された記録もある 15

アップル II

- 1977年発表
- その後16年間で600万台を売り上げる
- 1977年4月のウエストコーストコンピュータフェアまでに完成したのは3台のみ



- 空き箱を積み上げ、マシンが潤沢にあると印象づける

アップル II

➤ アップル I との比較

• ターゲットユーザの違い

- ✓ アップル I : コンピュータを組み立てることが好きな人向け
- ✓ アップル II : 買ってからすぐに使いたい人向け

• パッケージ

- ✓ アップル I : キーボード、スクリーン、コンピュータのみ
- ✓ アップル II : 電源、ソフトウェアなどがひとつにまとまっている

• キラーアプリケーション※1の存在

- ✓ アップル I : アプリケーションという概念がない
- ✓ アップル II : 確定申告の準備のための表計算ソフトVisiCalc

※1 あるシステムを普及させる程の魅力を持った
アプリケーションソフトウェアのこと

アップル II

➤ ヒットした理由

- キーボードやモニタ、電源、ソフトウェアまでをすべてパッケージ化したため
- 一般ユーザを対象に表計算などのキラーアプリケーションが存在したため
- 他社製品と一線を画す、明るい色のプラスチックケースを利用したため



親しみやすいデザインと、買ってからすぐに使える機能がヒットのポイントである

マッキントッシュ

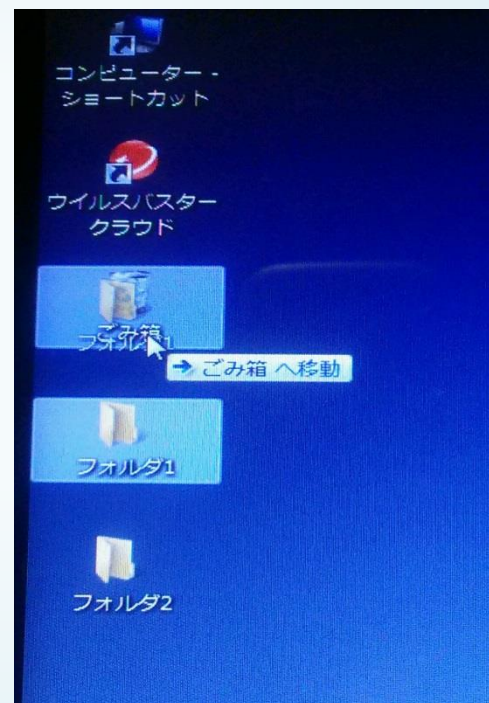
- Macintosh (マッキントッシュ) は1984年1月14日に発売されたアップルを代表するコンピュータ
- コマンドを打ち込む操作形式から、GUI (graphical user interface) による直感的で分かりやすい操作形式へと進化
- フォルダ、こみ箱などのアイデアを生み出す
- ビットマップシステムにより、美しいグラフィックやフォントを表現



個人向けのコンピュータを普及させる
現代のコンピュータの基礎を築き上げる

GUIについて

- GUI (graphical user interface) とは、ユーザに対する情報の表示にグラフィックを多用し、操作をポインティングデバイスによって行うユーザインターフェースのこと。
- シンプルで専門知識がなくとも直感的な操作ができる



専門知識のない人向けのコンピュータを普及させるのに適する
追求するシンプルさを実現

ビットマップシステム

- ビットマップシステムとは、ピクセルと呼ばれるスクリーン上の点一つひとつをメモリのビットに対応させる手法
- 美しいグラフィックやフォントを表現できる
- GUIの汎用性向上に貢献
- ピクセル一つひとつの明暗や色を管理しなければならないため、コンピュータ側への負荷が大きくなる



美しいグラフィックやさまざまなフォントを表現できるようにした

マッキントッシュ

➤ ヒットした理由

- コマンドを打ち込む操作形式から、GUI (graphical user interface) による直感的で分かりやすい操作形式へと進化したため
- ビットマップシステムにより、美しいグラフィックやフォントを表現できたため



親しみやすいデザインと、買ってからすぐに使える機能が
ヒットのポイントである

まとめ

➤ 学んだ内容

- シンプルで分かりやすいシステムを考える力
- 目的を達成するための行動力
- 常に知識を獲得しようとする姿勢

参考資料

参画eye パソコン20年史

http://danjo.city.kashiwa.lg.jp/gakushuu/pcschool/pc_history/pc_history04.htm

最終アクセス2014年4月12日

バリトピ アップル1が1800万円で落札されました！

<http://varitopi.com/archives/2010/11/24823.html>

最終アクセス2014年4月12日

PCパーツまとめ

<http://blog.livedoor.jp/bluejay01-review/archives/28476767.html>

最終アクセス2014年4月12日

付録

ブルーボックス

- エスクァイア誌に書かれていたフリーキング(電話システムを騙して不正に無料で電話をかける行為)装置のこと
- スティーブ・ジョブズとウォズニアックは
 - シリアルのおまけについてきた笛が、交換器と同じトーンの音を出すこと
 - 交換器のインバンドの単一周波数トーンがすべて「ベル・システム・テクニカル・ジャーナル」のある号に書かれていること
 - AT&T社が回収に乗り出していることを知ると、図書館に出向き資料を見つける
- 必要な部品を買い集め、ウォズニアックがブルーボックスを完成させる